

味の素株式会社

2014年3月期第1四半期決算概要

1. 決算概要
2. 財政状態
3. セグメント別情報

2013年7月31日

AJINOMOTO® 1.(1) 決算概要

(単位: 億円)

	2013年 4~6月	2012年 4~6月	増減額/率		2014/3期 通期予想	進捗
売上高	2,421	2,510	▲ 89	▲ 4%	10,190	24%
国内食品	779	1,071	▲ 292	▲ 27%	3,385	23%
海外食品	716	580	136	24%	3,039	24%
バイオ・ファイン	551	498	53	11%	2,328	24%
医薬	168	181	▲ 14	▲ 8%	529	32%
その他	207	179	27	15%	909	23%
営業利益	144	193	▲ 48	▲ 25%	750	19%
国内食品	52	90	▲ 38	▲ 42%	283	19%
海外食品	62	52	10	19%	231	27%
バイオ・ファイン	25	44	▲ 18	▲ 42%	192	13%
医薬	4	7	▲ 3	▲ 37%	43	10%
その他	1	▲ 0	1	-	1	51%
経常利益	164	209	▲ 45	▲ 21%	790	21%
当期純利益	113	100	13	13%	490	23%
為替レート	円/USD	98.78	80.18		90.0	
	円/ユーロ	128.95	102.84		118.0	

※2014年3月期より提携事業等の純額表示(売上高と売上原価を相殺して純額にて売上高を計上する方法)導入に伴い以下の通り変更:

- ・対象: 国内食品の「調味料・加工食品」に含まれていたケロッグ製品、提携事業の「油脂」および「コーヒー類」
- ・旧「提携事業」セグメントを廃止。「油脂」「コーヒー類」を「その他」セグメントの「油脂・コーヒー」(純額表示)として組み換え。
- ・2013年3月期実績は上記変更を反映。(以下のスライドも同様)

AJINOMOTO® 1.(2) 決算のポイント

売上高は換算為替影響の好転あるも、カルピス(株)株式売却影響等により減収。
営業利益は、飼料用アミノ酸の減益やカルピス(株)株式売却影響等により減益。

売上高・営業利益

(単位:億円)

	2013年 4~6月	2012年 4~6月	前年増減		通期 予想	進捗
			億円	率		
売上高	2,421	2,510	▲ 89	▲ 4%	10,190	24%
売上原価	1,555	1,490	65	4%	-	-
販管費	721	827	▲ 106	▲ 13%	-	-
営業利益	144	193	▲ 48	▲ 25%	750	19%

1. 為替影響
(対前年)

換算為替では、
売上高 228億円、営業利益 25億円
主要法人の貿易為替は、
売上高 約10億円、営業利益 ▲約5億円
2. 原燃料価格影響
(対前年)

発酵原燃料 ▲約6億円、国内食品原材料 ▲約7億円
3. コストダウン
(対前年)

国内食品約7億円、医薬約7億円

▲ = 損サイド

AJINOMOTO® 1.(3) 決算のポイント

経常利益

(単位: 億円)

	2013年 4~6月	2012年 4~6月	前年増減		通期 予想	進捗
			億円	率		
営業外収支	19	16	4	23%	-	-
経常利益	164	209	▲ 45	▲ 21%	790	21%

特記なし

純利益

(単位: 億円)

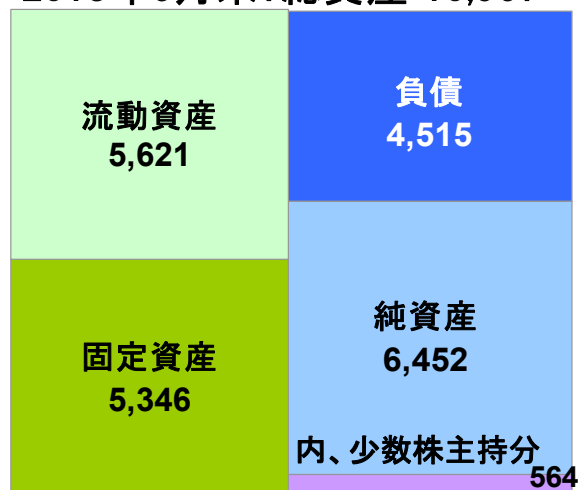
	2013年 4~6月	2012年 4~6月	前年増減		通期 予想	進捗
			億円	率		
特別利益	13	8	5	62%	-	-
特別損失	11	30	▲ 19	▲ 64%	-	-
税金等	34	70	▲ 36	▲ 51%	-	-
少数株主利益	19	17	2	12%	-	-
当期利益	113	100	13	13%	490	23%

- * 受取保険金 12億円
(対前年12億円増)
- * 投資有価証券評価損 0億円
(対前年24億円減)
- * 関係会社整理損 6億円
(対前年6億円増)

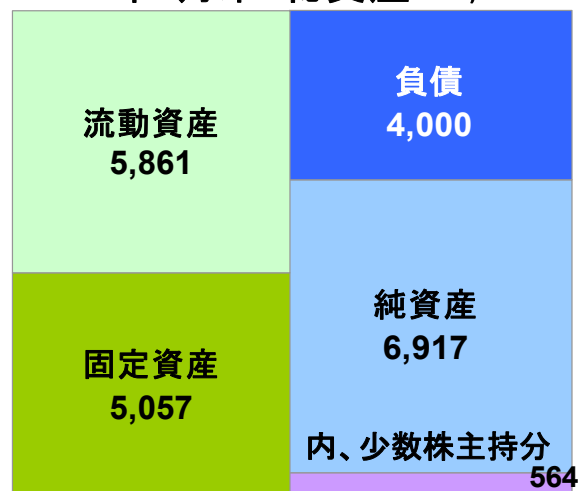
AJINOMOTO® 2. 財政状態

(単位:億円)

2013年6月末:総資産 10,967



2013年3月末:総資産 10,917



2013年3月末に比し総資産50億円増加:

- ・アルテア社の全株式取得に伴うのれんの増加
- ・在外子会社への貸借対照表の円貨換算額の増加

キャッシュフロー

(単位:億円)

	2013/6	2012/6	増減
①営業活動によるCF	▲ 3	141	▲ 144
②投資活動によるCF	▲ 283	▲ 162	▲ 121
③財務活動によるCF	▲ 114	▲ 308	194
④現金および現金同等物の残高	1,445	1,074	371
FCF(①+②)	▲ 286	▲ 22	▲ 265

※▲はキャッシュアウト

設備投資	135	164	▲ 29
減価償却費	113	104	9

有利子負債

(単位:億円)

<参考>

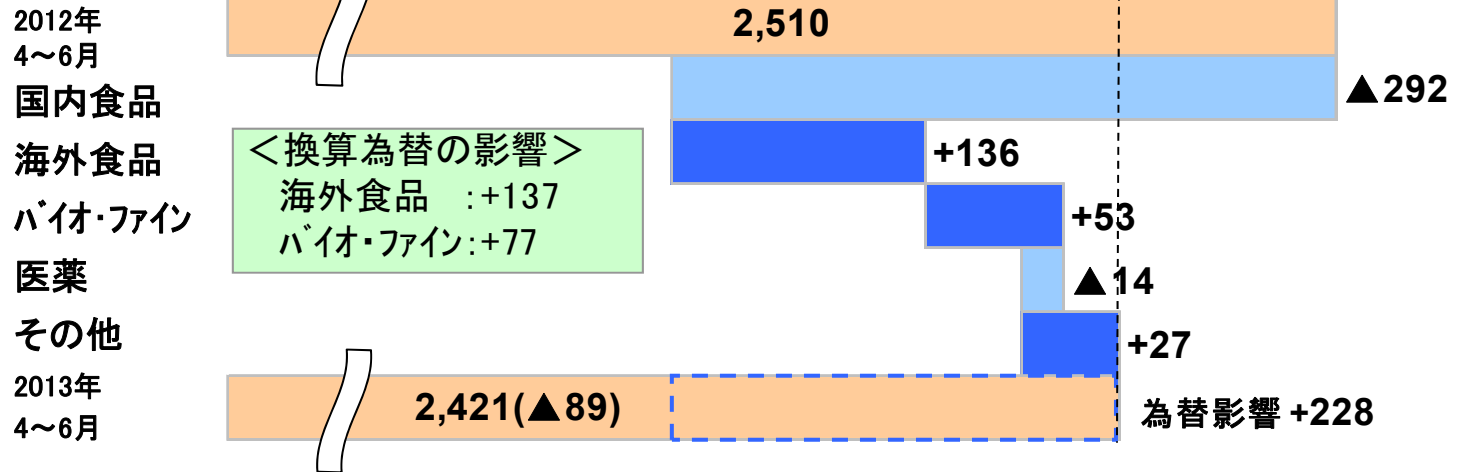
2013/6	2012/6	増減	2011/6
1,454	1,329	125	1,369



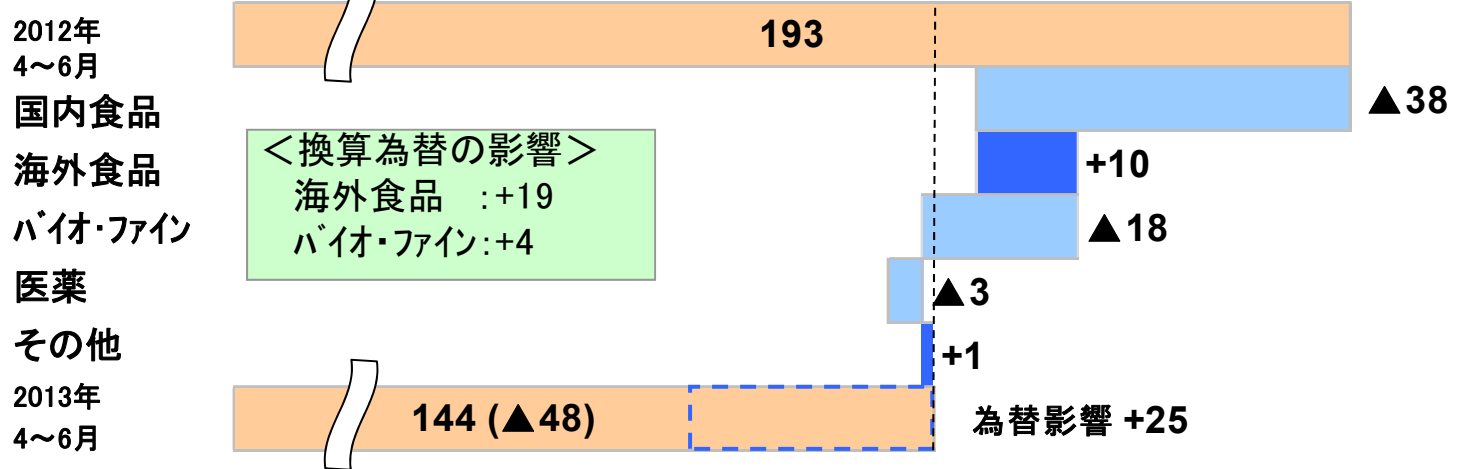
3.(1) セグメント別増減

(単位:億円)

売上高



営業利益



3.(2) 国内食品事業

(単位:億円)

	2013年4~6月	通期予想	通期進捗	2012年4~6月	増減	
売上高	779	3,385	23%	1,071	▲ 292	
調味料・加工食品	489	-	-	514	▲ 25	*1
冷凍食品	290	-	-	282	8	*2
飲料(「カルピス」)	0	0	-	276	▲ 276	*3
営業利益	52	283	19%	90	▲ 38	*4
調味料・加工食品	58	-	-	75	▲ 17	
冷凍食品	12	-	-	24	▲ 12	
飲料(「カルピス」)	0	0	-	19	▲ 19	
全社共通費	▲ 17	▲ 76	23%	▲ 28	10	

*1 家庭用商品は堅調も、カルピス(株)株式売却に伴う飲料ギフト終売等により減収。

*2 国内販売は前年並みも、北米を中心とした海外販売が好調で増収。

*3 2012年10月カルピス(株)株式売却。

*4 飲料ギフトを含めたカルピス(株)株式売却影響、原材料価格上昇、販売費増等により減益。

3.(3) 海外食品事業

(単位:億円)

	2013年4~6月	通期予想	通期進捗	2012年4~6月	増減
売上高	716	3,039	24%	580	136
コンシューマーフーズ*	584	2,545	23%	469	115
加工用うま味調味料	132	494	27%	111	21
営業利益	62	231	27%	52	10
全社共通費	▲ 22	▲ 94	24%	▲ 21	▲ 2

<換算為替の影響> 売上高: +137、営業利益: +19

*1 換算為替の影響、主に風味調味料の数量増等で増収。

*2 換算為替の影響と海外MSG、海外核酸の数量増等により増収。

*3 換算為替の影響等により、加工用うま味調味料の単価下落による減益をカバーし増益。

参考:コンシューマーフーズ+19、加工用うま味調味料▲8

3.(4) バイオ・ファイン事業

(単位:億円)

	2013年4～6月	通期予想	通期進捗	2012年4～6月	増減
売上高	551	2,328	24%	498	53
飼料用アミノ酸	237	1,085	22%	233	4 *1
アミノ酸	191	-	-	154	36 *2
化成品	111	-	-	100	11 *3
営業利益	25	192	13%	44	▲ 18 *4
飼料用アミノ酸	8	138	6%	38	▲ 30
アミノ酸	12	-	-	10	1
化成品	25	-	-	18	7
全社共通費	▲ 16	▲ 64	25%	▲ 15	▲ 1

<換算為替の影響> 売上高: +77、営業利益: +4

*1 リジンの販売単価下落、数量減あるも換算為替の影響で増収。

*2 医薬用・食品用アミノ酸 +22、製薬カスタムサービス(旧:医薬中間体) +9、甘味料 +6

*3 香粧品、ケミカル共に増収。

*4 化成品、医薬用・食品用アミノ酸等で増益も、飼料用アミノ酸、製薬カスタムサービスの減益をカバーできず減益。

参考:アミノ酸のうち医薬用・食品用アミノ酸+6、製薬カスタムサービス▲7、甘味料+2

※ 製薬カスタムサービス事業(旧:医薬中間体):製薬企業を顧客として、医薬中間体・原薬の製造サービスおよび開発サービスを提供する事業です。本第1四半期より味の素アルテア社の業績が当該事業に反映されます。



3.(5) 医薬事業

(単位:億円)

	2013年4~6月	通期予想	通期進捗	2012年4~6月	増減
売上高	168	529	32%	181	▲ 14 *1
営業利益	4	43	10%	7	▲ 3 *2
■ 全社共通費	▲ 5	▲ 15	31%	▲ 5	1

*1 自社販売品は導入品「マーズレン」や「モビプレップ」の新発売が販売貢献し増収。

提携販売品は後発品を含む競合品伸長により減収。

味の素製薬(株)推定薬価ベース売上(前年同期比)

「リーバクト」38億円(96%)

「アテレック」38億円(97%)

「エレンタール」19億円(99%)

「アクトネル」26億円(84%)

「カーボスター」16億円(99%)

「ファスティック」5億円(70%)

「ソリターT」10億円(99%)

*2 自販品の増収やコストダウン等あるも、提携販売品の減収により減益。

3.(6) その他事業

(単位:億円)

	2013年4~6月	通期予想	通期進捗	2012年4~6月	増減
売上高	207	909	23%	179	27 *1
油脂・コーヒー	5	-	-	5	0
営業利益	1	1	39%	▲ 0	1 *2
油脂・コーヒー	5	-	-	5	0
全社共通費	▲ 7	▲ 32	23%	▲ 7	0

*1 医療用食品の計上セグメント変更(医薬→その他)影響、物流等で増収。

*2 健康ケア事業増益により増益。

AJINOMOTO® 3.(7) 事業別・地域別売上高

※ 上段：2013年4～6月実績、下段：2012年4～6月期実績
 ()内は増減額

(単位：億円)

	日本	アジア	米州	欧州	合計
国内食品	735 (▲298)	14 (▲1)	27 (8)	4 (0)	779 (▲292)
	1,033	15	19	4	1,071
海外食品	22 (▲2)	490 (101)	131 (25)	72 (12)	716 (136)
	24	389	107	60	580
バイオ・ ファイン	151 (▲1)	49 (10)	174 (24)	177 (20)	551 (53)
	152	38	150	157	498
医薬	168 (▲14)				168 (▲14)
	181				181
その他	182 (23)	24 (4)	0 (0)		207 (27)
	159	20	0		179
合計	1,258 (▲292)	577 (114)	333 (57)	253 (32)	2,421 (▲89)
	1,551	462	276	221	2,510

AJINOMOTO® 3.(8) 事業別・地域別営業利益

※ 上段：2013年4～6月実績、下段：2012年4～6月期実績
 ()内は増減額

(単位：億円)

	日本	アジア	米州	欧州	地域外*	合計
国内食品	62 (▲50)	5 (2)	3 (1)	1 (▲0)	▲ 18 (10)	52 (▲38)
	112	3	2	1	▲ 28	90
海外食品	▲ 5 (4)	76 (10)	16 (1)	0 (▲3)	▲ 25 (▲1)	62 (10)
	▲ 9	66	15	3	▲ 24	52
バイオ・ファイン	33 (15)	4 (▲6)	▲ 0 (▲15)	12 (▲4)	▲ 24 (▲8)	25 (▲18)
	19	10	15	16	▲ 16	44
医薬	9 (▲3)				▲ 5 (1)	4 (▲3)
	12				▲ 5	7
その他	5 (▲1)	4 (3)	0 (▲0)	▲ 0 (0)	▲ 9 (▲1)	1 (1)
	6	1	0	▲ 0	▲ 7	▲ 0
全社共通費等*	▲ 40 (7)	▲ 22 (▲4)	▲ 11 (▲2)	▲ 8 (▲1)	▲ 80 (▲0)	
	▲ 47	▲ 17	▲ 9	▲ 7	▲ 80	
合計	65 (▲29)	67 (4)	8 (▲16)	5 (▲8)		144 (▲48)
	94	63	23	13		193

* 全社共通費、未実現利益消去等を含む。



AJINOMOTO 3.(9) 事業別・地域別営業利益のポイント

2013年4～6月 対前年同期増減

1. 海外食品

日本:+4、アジア:+10、米州:+1、欧州:▲3、地域外*:▲1 計 +10億円

アジア 換算為替影響、コンシューマーフーズの増収等で増加。

2. バイオ・ファイン

日本:+15、アジア:▲6、米州:▲15、欧州:▲4、地域外*:▲8 計 ▲18億円

日本 化成品、甘味料等で増加。

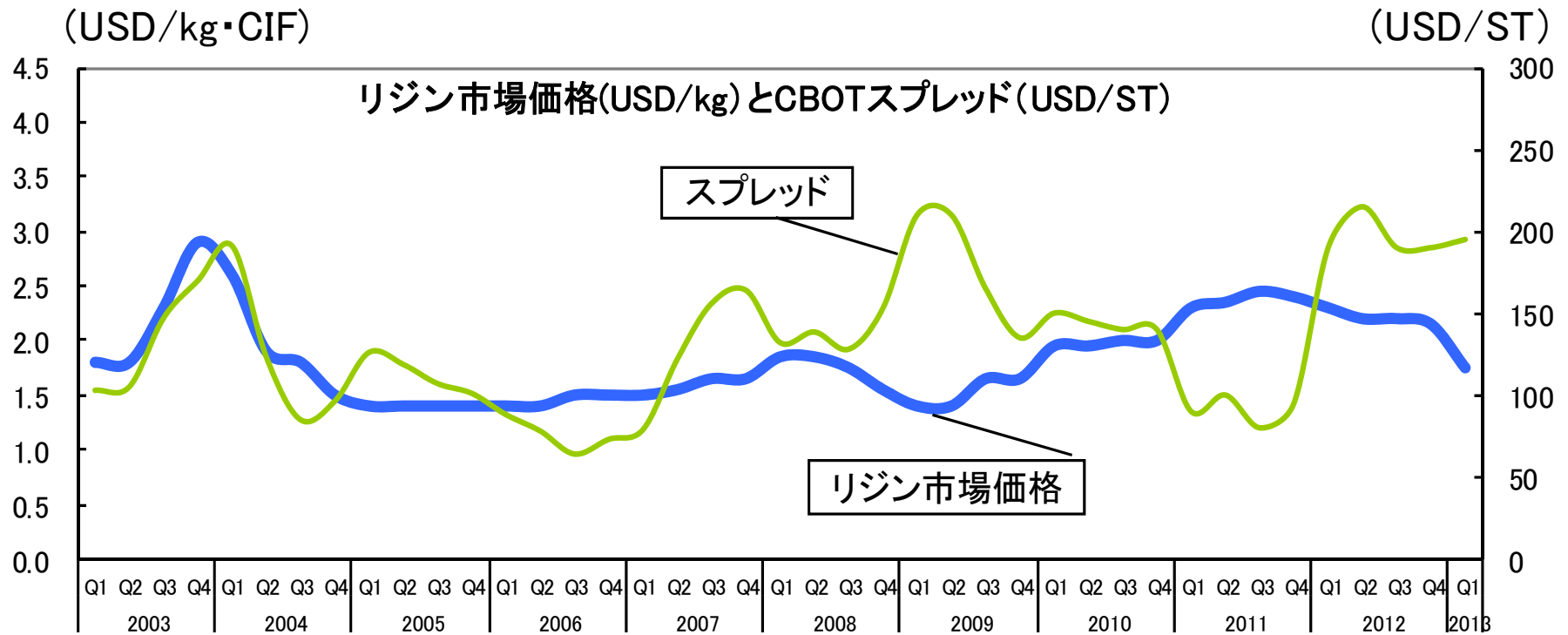
米州 飼料用アミノ酸等で減少。

* 全社共通費、未実現利益消去等を含む。



AJINOMOTO. 【参考】飼料用リジン市場価格、CBOTスプレッド*推移

*CBOTスプレッド=シカゴ商品取引所の大豆粕とコーンの価格差



おいしさ、そして、いのちへ。
Eat Well, Live Well.

AJINOMOTO®

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、四捨五入で表示しております。